

# 佐潟自然情報

## 【2月】

1月下旬からの寒波で2月の初め頃まで、下潟はほとんど凍った状態でした。湧き水が出ているところはとけていて、ハクチョウやカモたちが過ごしていました。

また、ガン類の仲間ヒシクイやマガン、ハクガンも佐潟に避難してきたようです。湖面がとけたらガン類は見られなくなりました。別な場所へと移動したようです。2月の中頃には佐潟で過ごしていたハクチョウたちも北へと渡っていきました。時々、南にいたハクチョウたちが上空を通過したり、休息で立ち寄ったりするのを見かけました。カモのオスたちは頭や尾を上げる等の求愛ディスプレイで、メスに気に入られようとしています。冬を過ごしたカモたちも渡っていく時期となりました。

陽が当たるところには春の草花たちが顔を出してきました。

肌寒いですが、暖かくして冬から早春への佐潟を見に来てください。



〈 佐潟の様子 〉

## ■ 2月に見られたもの

### 〔植物〕

ノゲシ、ガマ、カンアオイの仲間、ヒメオドリコソウ、オオイヌノフグリ、コハコベ、  
ヘクソカズラ、ガガイモ、  
ヤツデ、ヤブツバキ、アオキ、トベラ、エノキ、タチヤナギ、コブシ、オニグルミ、タブノキ、エゴノキ、  
ノイバラ、シロダモ、ネムノキ、サルスベリ、マンサク



〈 コブシ（花芽） 〉



〈 オオイヌノフグリ 〉

### 〔鳥類〕

ヒシクイ、マガン、ハクガン、コハクチョウ、オオハクチョウ、ヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、  
カルガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、トモエガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ミコアイサ、  
カワアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、  
オオバン、トビ、オオタカ、ノスリ、カワセミ、アリスイ、コゲラ、モズ、ミヤマガラス、  
ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、  
シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、アトリ、カワラヒワ、ベニマシコ、シメ、ホオジロ、  
カシラダカ、アオジ、オオジュリン、ガビチョウ



〈 凍結した時の様子 〉



〈 ハシビロガモ 〉



〈 アトリ 〉



〈 オナガガモとカルガモ 〉

〔その他〕

ハラビロカマキリの卵のう、オオカマキリの卵のう、ハエの仲間、スズバチの巣



〈 オオカマキリの卵のう 〉



〈 スズバチの巣 〉